写真で見る

# まちの話題

= TOWN TOPICS =

## 生涯学習講座「登山教室」を開催　7/11・9/12

水上山岳会とみなかみ山岳ガイド協会のご協力のもと、全２回の登山教室を開催しました。第１回は鹿俣山で、登山に必要な装備や歩き方、安全に山を楽しむための知識を学びました。第２回では、名峰・谷川岳に挑戦しました。学んだことを生かしながら山頂を目指し、登山の楽しさや達成感を味わいました。登山は、年齢を重ねても自分のペースで楽しめる生涯スポーツ。安全に気をつけて、ぜひ登山を楽しんでみてください。

▲参加者で記念撮影

## 小川島地区の奇祭「ヤッサ祭り」が開催　9/26

400年以上の歴史を誇る小川島地区の奇祭「ヤッサ祭り」が開催されました。当日はあいにくの悪天候となりましたが、会場は見物客と熱気で包まれました。祭りが始まると、参加した若者たちは雨やぬかるみをものともせず、泥だらけになりながら威勢のいい声を響かせました。悪条件を吹き飛ばすような熱気の中、体いっぱいに泥をまといながら、伝統をつなぐとともに、これからの五穀豊穣や無病息災を願いました。

▲腰帯をつかんで数珠つなぎになって社殿へ上がる

## みなかみユネスコエコパーク　アウトドア感謝祭　9/25～27

道の駅みなかみ水紀行館をメイン会場に、「みなかみユネスコエコパーク アウトドア感謝祭」が３日間にわたり開催されました。

期間中はラフティングやカヌー、バギー体験をはじめとする多彩なアクティビティやエコマーケットが実施され、こどもから大人まで多くの来場者が豊かな自然を満喫しました。

２日目の夜にはステージショーに加えて打ち上げ花火が行われ、利根川の夜空を彩る大輪の花火に会場から大きな歓声が上がりました。自然と共生するみなかみ町のアウトドアを存分に味わい、笑顔あふれるひとときとなりました。

ラフティングボート上から
ラッキーシャワー

フラダンスショー

迫力のある花火に
来場者から歓声が上がる

ラフティング体験の様子

カヌー体験の様子

## 令和８年度みなかみ町人権ポスターコンクール　表彰式　9/27

人権ポスターコンクールの表彰式が行われ、応募のあった38人の中から、小学校の部と中学校の部それぞれで最優秀賞と優秀賞に選ばれた受賞者のみなさんが表彰されました。

このコンクールは、町内の小・中学校の児童・生徒が、人権をテーマとしたポスターの制作を通じて人権への理解と認識を深め、人権尊重の意識を高めることを目的に毎年行っているものです。

▲受賞者のみなさん

▲表彰式の様子

### 受賞された小学校の部５人、中学校の部４人の入賞作品をご紹介します

#### 小学校の部

最優秀賞

唐澤 友瑞希（水上小４年）

優秀賞

山口 麻結（新治小６年）

塩崎 こころ（水上小４年）

鈴木 宇希（水上小６年）

亀井 里彩（月夜野小３年）

#### 中学校の部

最優秀賞

髙橋 陽向（みなかみ中２年）

優秀賞

森下 寧々（みなかみ中２年）

鬼頭 六花（みなかみ中１年）

中村 結月（みなかみ中１年）

▲過去の入賞作品はこちら

写真で見る

# まちの話題

= TOWN TOPICS =

## ごみ拾いがスポーツに！ 10/18

たくみの里を会場に「スポGOMI大会inみなかみ2026」を開催しました。当日は、29チーム111人が参加し、制限時間内にチームで協力しながら、ごみの種類や量に応じたポイントを競いました。

競技で集められたごみの総量は98.95kg。参加者はチームで声を掛け合い、協力してごみを拾いました。スポーツ感覚でごみ拾いを楽しみながら、地域をきれいにすることや環境について考える機会となりました。

▲参加者で記念撮影

## TBG全国大会開催 10/3～4

第13回全日本ターゲット・バードゴルフ全国大会 in 群馬が、みなかみ町月夜野総合グラウンドターゲット・バードゴルフ場にて開催されました。大会には、予選会となる各大会で優秀な成績を収めた全国各地の選手たちが総勢160人集まり、日頃の練習の成果を存分に発揮しました。

みなかみ町からは13人が出場し、鈴木百合子さん・橋本房子さんが二人組戦で優勝するなど、輝かしい成績を収めました。

▲２人組戦（女子の部）入賞者のみなさん

## 「森のスターバックス」企業協働の職員研修を実施 9/24

スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社との連携協定に基づき、町で初となる企業協働型の職員研修を実施しました。職員は同社従業員のみなさんの説明を聞きながら森を散策し、町の水の価値や、それを育む森林の多面的機能を学びました。また、高い接客姿勢を体感し、参加した職員からは「企業視点で町の魅力を再認識できた。今回の学びやおもてなしの姿勢を業務に生かしたい」と前向きな感想が寄せられました。

▲研修を受ける職員の様子

## スポーツ吹矢の県大会で3位入賞 5/27

後閑スポーツ吹矢愛好会の富岡美代子さん（後閑在住）が、「第23回群馬県スポーツウエルネス吹矢大会」のDクラス（女子８ｍ）で見事３位に輝きました。

この優秀な成績により富岡さんは県代表に選出され、11月に開催される「第15回全日本スポーツウエルネス吹矢選手権大会兼第１回世界大会」へ出場します。大舞台でのさらなる活躍が期待されます。

▲３位に輝いた富岡さん（右から３番目）

写真で見る

# まちの話題

= TOWN TOPICS =

## 戦没者追悼式で恒久平和を願う　10/22

令和８年度みなかみ町戦没者追悼式が開催されました。先の大戦においてみなかみ町では、およそ900柱の先人達が祖国の平和と発展を願いながら心ならずも命を落とされました。

当日は町内３箇所の忠霊塔より戦没者の御霊をお迎えし、遺族の方々をはじめ約100人の参列者が、戦争により亡くなられた犠牲者のご冥福をお祈りするとともに、悲惨な史実が繰り返されないよう「恒久平和の実現」に向けて祈りを捧げました。

▲献花と祈りを捧げる参列者

## 下牧区で防災訓練を実施　9/6

下牧区公民館で、令和８年度の下牧区防災訓練が行われました。当日は利根沼田広域消防西消防署員の指導のもと、避難所となる公民館の安全点検を実施しました。さらに、避難所を開設する際の手順を確認したほか、備蓄している非常食を実際に調理して食べる体験も行いました。

参加したみなさんは熱心に取り組み、災害時に備えて防災意識をより一層高めていました。

▲段ボールベッドを組み立てる体験

## 宝くじ助成金事業で下区自主防災連絡会が防災備品を整備　8/31

（一財）自治総合センターでは、宝くじの社会貢献事業として、宝くじの受託事業収入を財源としたコミュニティ助成事業を実施しています。この事業は、宝くじの普及広報を行うこと、コミュニティの健全な発展を図ることを目的に、自治会などへの助成をするものです。

今回は、下区自主防災連絡会が防災備品として、防災倉庫、発電機、大型炊き出し器などを整備しました。

▲整備した発電機

## 宝くじ助成金事業で下石倉区がエアコンを整備　9/17

（公財）群馬県市町村振興協会では、宝くじの収益による社会貢献広報事業として魅力あるコミュニティ助成事業を行っています。地域コミュニティ活動に必要な設備などの整備に対し助成する事業で、地域コミュニティ活動の充実・強化を図り、地域社会の健全な発展・住民福祉の向上を目指すものです。

今回は下石倉区がエアコンを整備しました。

▲整備したエアコン

写真で見る

# まちの話題

= TOWN TOPICS =

## 「ススメ、水上温泉街。」みなかみみらいマルシェを開催　9/19～20

水上温泉街を中心に、水上駅から道の駅みなかみ水紀行館までのエリアを11の会場で結ぶ「みなかみみらいマルシェ2026」を開催しました（主催：みなかみみらいマルシェ実行委員会／共催：みなかみ町、株式会社群馬銀行、株式会社オープンハウスグループ、東京大学大学院都市デザイン研究室）。

前身の廃墟再生マルシェから数えて５回目となる本イベントには２日間計約3,300人の方が訪れ、実行委員会調べによるとそのうち約７割近くの方が町外からの来場となりました。訪れた人が一つの場所で目的を終えるのではなく、「もう少し先まで歩いてみよう」と思える仕掛けをまちの各所につくることで、その場所にしかない風景や人、店、建物との出会いを楽しんでもらうことができ、回遊性を促すことで滞在時間の増加につながる効果を実証できました。

▲今冬に本工事がはじまるため今回が最後となる廃墟ツアー

▲特設されたマルシェ会場には多くのお客様が来場

### 不登校のお子さんやひきこもりさんを支える 家族のためのサロン

「本人もつらいだろうけど家族も苦しい」「将来どうなるのかな」・・・など、家族には家族なりの不安や焦りがあります。このサロンは、孤立感をやわらげ、ちょっとだけホッとできるような「家族にとってのこころの居場所」をつくることを目指しています。同じような悩みを持つ家族同士であつまり、ともに学んだり、思いを共有したりしませんか。お話ししたことが外に漏れるということはありません。話すことが苦手という方は、ただ話を聴くだけ・参加するだけでも大丈夫ですよ。

内　容：テキストを用いて、本人の気持ちの理解とコミュニケーションの方法について学びます。
対　象：不登校のお子さんやひきこもりさんのご家族（親、きょうだい、祖父母など関係は問いません）
日　時：令和8年10月27日(火)「ひきこもり」とは　終了しました
　　11月24日(火)　本人と家族の気持ち-対話の工夫-
　　12月22日(火)　関わり方の工夫-こんなときどうする？-
　　時間はいずれも13:30～15:00、1回のみの参加も可能です。
場　所：みなかみ町中央公民館　３階　会議室A
申込み：不要。会場へ直接お越しください。
問い合わせ：福祉まるごとサポートセンター（健康推進課 福祉相談係）
　　☎0278-25-8240

匿名での参加や途中からの参加、途中退出OKです！

イメージキャラクター きくりん

この記事は福祉まるごとサポートセンターから提供されています

## おもちゃ美術館学芸員養成講座　第１期開講　9/26～27

来年秋に開館予定のおもちゃ美術館。そこでおもちゃと遊びの案内人になっていただく方を対象に、おもちゃ学芸員養成講座が開催されました。今回の講座では、おもちゃ美術館の設立背景や町での取り組み、学芸員としての心得などを学ぶ講義に加え、実際に木のおもちゃを手に取り、参加者同士で楽しみながら遊び方について考え、「木育」を通して心を育むことの重要性を体感しました。

２日間にわたり講座を受講した30人には、副町長よりおもちゃ学芸員の認定証が授与されました。町では開館に向けて引き続き、おもちゃ美術館に携わる方々との連携・サポートを続けていきます。

木のおもちゃで
背中に文字を書くあそび

グループワークの様子

講義の様子

さまざまな木のおもちゃ

### おもちゃ学芸員養成講座 受講生募集中！

**第2期　12月12日（土）・13日（日）**

時間：１日目 午前10時から午後４時
　　２日目 午前９時30分から午後１時
会場：みなかみ町保健福祉センター
定員：30人
参加費：2,000円

▲申込フォーム

※詳細は申込フォームをご確認ください

今こそあらためて

## みなかみユネスコエコパークについて語ろう Vol.6

### ～広葉樹産業化プロジェクトが育む故郷への想い～

ユネスコエコパークとして、豊かな森林を守り、暮らしの中で活かしていくために町では「広葉樹産業化プロジェクト」を進めています。

### 広葉樹産業化プロジェクトとは

みなかみ町の森林の約65%を占める豊かな広葉樹を「まもり、いかし、ひろめる」ために始まった、林業の6次産業化を目指す取組です。詳しくは、本誌の特集ページをお読みください。

### 町内産の木材を使用した机と椅子を町内全小学校に配置します

広葉樹産業化プロジェクトの一つとして、町内の全小学校へ、町内産の広葉樹で作られた机と椅子を導入していきます。こどもたちが在学中に使った机の天板は、卒業時に脚をつけて小机としてプレゼントされます。大人になっても、そして次の世代や大切な人へと受け継がれるなかでも、故郷とのつながりを感じてもらうための取組です。

毎日触れる町内産の木のぬくもりを通して、こどもたちの心の中に「みなかみの自然を大切にしたい」という地域への想いが育まれていくことを願っています。

**ユネスコエコパークをめぐる主な11月のうごき**

- 11月７日-８日 イオンモール高崎　ぐんまフェアへ参加
- 11月12日-13日　登山道整備講習会　平標山
- 11月14日　なかのエコフェア2026
- 11月19日-20日　日本ユネスコエコパークネットワーク

写真で見る

# まちの話題

= TOWN TOPICS =

## 地域おこし協力隊の活動　株式会社たくみの里所属　中村 榛希（はるき） さん

はじめまして。今年３月に群馬県立農林大学校を卒業し、４月から地域おこし協力隊として「株式会社たくみの里」に着任しました中村榛希と申します。

現在、私はみなかみ町内で出た食品残渣（ざんさ）や加工品の副産物などを原料とした堆肥作りと、その堆肥を使って作物を育て、町内の給食センターやホテルで活用する「みなかみスタイル」という地域内循環の推進を目的として活動しています。

その一環として、有機農業の勉強会に参加したり、たくみの里内の実証圃場で農作物の栽培や自然派ワイン用のぶどう栽培にも力を入れています。農林大学校で培った知識や技術を活かし、トラクターで畑を耕すなどの作業を行う中で、地域に貢献できることに大きなやりがいを感じています。

これからも活動を通じて、みなかみスタイルだけでなく、みなかみ町をより盛り上げるため、日々取り組んでまいります。

▲にんじんの実証園場で作業している様子

▲ワインぶどう畑で講師の大岡弘武氏と

## まちづくり協議会だより　第87号

問 まちづくり協議会事務局（企画課）
０２７８(２５)５０３０

まちづくり協議会新治支部では、花の植栽をはじめとした景観整備や、地域活性化のためのイベントを実施するなど、日々さまざまな分野で活動を行っています。

その中で、私が取り組んでいるのは「塩原太助」をより多くの人に知ってもらうための活動です。

みなかみ町出身の江戸時代の豪商・塩原太助は、炭商として成功を収め、公共事業への寄付など社会貢献にも尽力しました。努力と孝行の精神で知られ、講談や芝居でも語り継がれている人物です。

しかし、近年は地元でも関心が薄れつつあり、偉大な先人の功績がこのまま忘れ去られてしまわないかという、強い危機感をもって活動を行っています。

そこで今年度は、塩原太助の生き方や功績を改めて深く学ぶための講演会を２回開催しました。当日は熱心な参加者が集まり、合計で90人を超える方にご参加いただくことができました。

今後も、私たちの郷土が誇る塩原太助の認知度向上や魅力発信に向けた活動を精一杯続けていきたいと思います。

まちづくり協議会　新治支部　中塚治男

▲講演会の様子

▲講演会講師の大野 富次さん